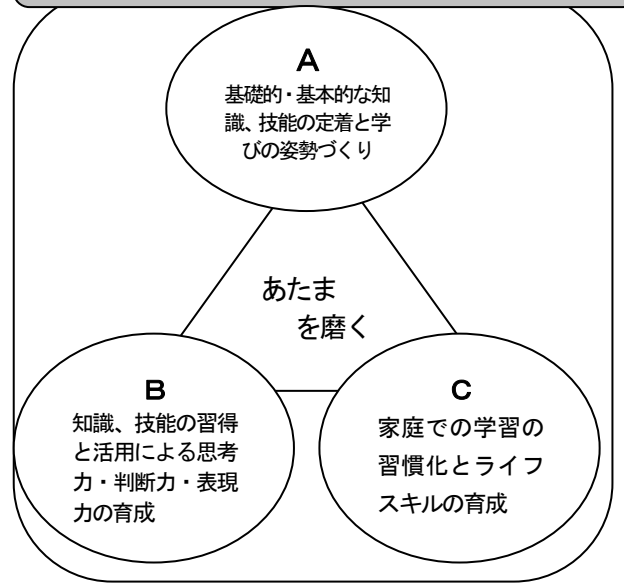


平成27年度 甲賀市立水口小学校 学力向上策

1. 本校の学力向上にかかわる課題 (全国学力・学習状況調査より)

- ◇国語・算数の「知識」を問う問題については概ね良好で、「活用」についても改善が見られるが個人差がある。
 - ◇無解答率が下がり最後までねばり強くやりとげる力がついてきた
 - ◇「選択」「短答」の正答率が高く、「記述式」の正答率が低い。
- 国語科
- ・「国語辞典を使って言葉の意味を理解すること」「読み比べ自分の考えを書くこと」「分かったこと、疑問に思ったことを整理し、関連づけながら書くこと」に課題がある。
- 算数科
- ・「作図に用いられる図形の約束や性質の理解」「示された情報を基に筋道を考え求め方を記述すること」に課題がある。
- 質問紙調査
- ・1日の読書量、図書館、図書室の利用が少ない。
 - ・インターネットを活用して調べる学習の経験が少ない。
 - ・あいさつをよくしており、地域行事にも参加している児童が多い。
 - ・総合の時間で問題解決型の学習経験が乏しい。

2. 本校の「学力」のとらえ方



3. 学力向上へのアプローチ

(1) 「A」からのアプローチ

○学力底上げのための取組

- ・読書活動、読み聞かせ、視写、暗唱や漢字や計算等の基礎的基本的な学習の定着を図る。
- ・昼休み・放課後を利用した個別指導を推進する。

○MKG(みなくちっこ ここまでやろう 学力向上) 大作戦

- ・MKGを元にした、各学年の到達目標に迫る取り組みを推進する。

○「わかる授業」づくりのための授業の工夫改善

- ・少人数指導、複数指導、特別支援教育の充実を図り、個に応じた指導を工夫・充実する。

○「学びの姿勢」づくり

- ・自己肯定感(自尊感情)の育成・繰り返しの学習により「認め」「誉め」自信を持たせる。
- ・やりきらせる体験を積み重ねる。→達成感、意欲の高まり

(2) 「B」からのアプローチ

○伝え合う力の育成

- ・算数科における言語活動の充実を図る手立てとして、各学年に応じたノートを作成し、学びの道筋を明らかにした指導をする。(気づき→考え→実行する→振り返る)
- ・「思考力・表現力」を高めるため、ICTを有効活用した授業改善に努める。
- ・学び合い、高まり合う学習集団づくりに努める。(個人、グループ等を活用した学びの形態の工夫)

○教師の指導力アップ

- ・学年での授業等の情報交換、授業研究、授業公開(わかる授業、楽しい授業)を行う。
- ・ワークショップ方式を取り入れた全員参画の研究会実施とOJTの手法を生かした指導力の継承を行う。
- ・水口町小中学校共通実践事項の取り組みとその評価を行う。

(3) 「C」からのアプローチ

○家庭での学習の習慣化

- ・家庭学習…「宿題」「予習・復習」「自主的な学習」等、家庭学習の方法と時間(学年×10分+30分)などについて検討し、家庭学習強化週間を実施する。
- ・基本的な生活習慣(「早寝、早起き、朝ごはん、挨拶、読書、運動」)、ライフスキルを育成する。

4. 学力向上策の検証

- ・教師間の評価と点検(P→D→C→Aサイクルによる)を行い、実践を深める。
- ・児童や保護者等による「アンケート」や「学校関係者評価委員会」を行い、結果を分析し、次年度に活かす。
- ・児童アンケート項目の「学校の勉強は楽しくてよくわかる」について85%をめざす。